

2022年12月27日
ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」の策定
及びシンジケーション形式による「サステナビリティ・リンク・ローン」の締結について

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社（本社：大阪市、社長：小野 有理）は、株式会社三井住友銀行様（頭取 CEO：高島 誠、以下「SMBC」）より支援を受け、「サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を策定するとともに、SMBCをアレンジャーとするシンジケーション形式のサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）を締結いたしました。

SLLは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）を設定し、貸出条件とSPTsに対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

なお、この度のSLLにおいては以下2つの指標をSPTsに定め、達成への動機付けとして、SPTsの達成度合いに応じて金利条件が連動する貸出条件が設定されています。

- 1) 事業活動に伴うCO2排出量（原単位）を2031年度までに国内拠点40%、海外拠点10%削減(2020年度比)
- 2) CO2削減に寄与する自社製品の販売目標に連動したCO2削減貢献量を2031年度までに100%増加(2021年度比)

今後も当グループは、中長期経営計画“再点火反転攻勢版”で掲げた「車と家をものづくりでつなぐ」に基づき、公器としてお客様の発展に寄与し社会の豊かさに貢献するべく、現業の改善並びに新常態の時代に資するものづくりに連戦猛進して参ります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 社長室 IR・広報部
TEL: 06-6302-8211 E-mail: PR1_INFO@dia-zbr.co.jp